

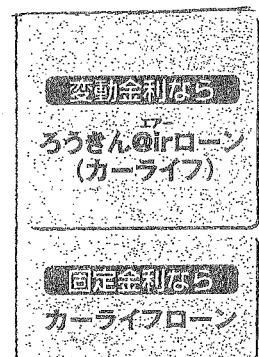


▲ 「夏季一時金・人員確保闘争」市労連決起集会
(6月8日=明石市民会館中ホール)

、退職を上回る採用を

明石市労連ニュース

第 33 号
2012年 6月 12日
明石市労連発行組合



というもので、一時金改善についての要求に応えていない。また、継続協議となつてゐる「初任給の引き下げ」「昇格基準の見直し」の

あさって14日は	中央委員会
午後6時15分～	
市民会館	
第1～2会議室	
食事は中央委員会中断時に	て頂きます。
	(市職労)
14日は	員勤
役超	待拒
機否	

市労連は、「夏季一時金に関する要求」について7日回答を受けた。その内容は

- ①平成24年6月期末勤勉手当は、明石市の条例・規則等に定めるところにより支給する。(1・90月)
- ②役職段階別加算措置については、職務段階等に応じて措置するものであり、制度本来の趣旨に則った取り扱いにすべきと考えている。
- ③勤務手当への成績率の導入については、職員の意欲

のさらなる向上や人材育成の一層の推進を図るため、今後、導入に向けた検討を行う考えである。採用事由、期間、形態及び業務内容等から定めている。一時金の増額、傾斜配分の改善、成績主義導入反対、臨時・非常勤の一時金の改善」について強く要求しながら15日の県本部統一行動を背景に粘り強くたたかいをすすめる。

市職労人員確保

電気職、保育士や保健師、学芸員など専門職の採用、障害者の雇用、臨時職員等の待遇改善、そして、職場の業務内容に応じた一般正規職員と任期付短時間勤務職員・臨時職員等の配置比率の是正などの問題点を質した。

いたために懸命に頑張つており、これら職員の努力に対し何か報いることが出来ないのかと当局に要求した。しかしながら、当局は前向きな姿勢を見せようとはしていない。

一時金の増額と職員が健康に働き続けることのできる人員体制を求め、団結してこの厳しい状況を乗り越えよう。との挨拶で始まつた。

市労連は、8日午後1時半から、明石市民会館中ホールに結集した104名の組合員とともに「人員確保・夏季一時金闘争勝利決起集会」を開催した。

集会は、冒頭、宮本議長の「行革による人員削減で

職場は限界である。しかも、今年度は大規模な機構改革と人事異動による混乱が生じ、未だ落ち着きを取り戻せない職場や業務負担が著しく増大した職場がある。続いて、本多県本部委員

記長が各単組の決意表明を行い、最後に内藤市職労執行委員による団結ガンバローで集会を締めた。

15日の県本部統一1時

間ストを背景に要求の前進をめざす。